



西中学校だより

令和3年10月18日
東久留米市立西中学校



西中学校生徒の学び

校長 薮野 勝久

急に寒い日が続き、いよいよ秋も本番という印象です。

9月下旬には生徒会本部役員の選挙が終わり、また、新生徒会役員や各クラスの委員会所属が決まり、後期の生徒会がスタートしました。現下の状況にあってもなお、子供たちは毎日を元気に過ごしています。

I組を含む1年生は、9月実施予定の第1回目移動教室を中止し、2回目移動教室のみを実施し、今月7日（木）鳩ノ巣バンガローで飯盒炊さんを行いました。飯盒炊さんの教育的価値は、お米を洗ったり、野菜を切ったり、火をおこしたり、味付けをしたり、洗い物をしたりなど、一人で同時に行うことは到底できないことを、班員が**役割分担**し、一人一人がそれぞれに託された**責任**を**協力**して全うすることこそ大切なのである、という事を学ぶために行います。これは将来、子供たちが社会に出て、チームの一員として働く時に必要とされる力の育成でもあります。子供たちは、**時間、責任、協力**を目標に掲げ、その達成を目指して取り組んでいました。



飯盒炊さんの内容は、実際にご飯をつくる前の、様々な事前準備の活動から始まりました。例えば実行委員会を立ち上げて、服装や持ち物、ルールなど、学級討議を経て検討したり、メニューも各班で検討したり、班長会を幾度も実施したりする**自分たち（班）で企画運営する飯盒炊さん**でした。こうした活動で学んだ力は今後の学校生活のみならず、社会に出てからも必要になる力であり、「良き社会人」へのステップでも考えています。

2年生は、職場体験学習を中止したことから、その代替行事として、職業観の育成に焦点を当てた体験学習で、キャリア教育のプロ集団、「夢★らくざプロジェクト」を招聘して行いました。気象予報士、航海士、弁護士など、全部で8つの専門家による指導の下、生徒数約17名ずつの班に分かれ、実施されました。

その学習内容は、例えばグラフィックデザイナーの場合で言えば、生徒に「パッケージのデザインを考えよう」という課題が与えられます。生徒が行う学習は考えることです。先ず何を入れる箱なのか、どのくらいの大きさか、コンセプトは何か、いちごあめを入れるパッケージならば一目でいちごあめだとわかるようにデザインするためには、食べたくなったり、パッケージに手を伸ばしたくなるには、等々、子供たちは楽しそうに、そして真剣に学習に取り組んでいました。

そもそも職業観とは、職業一般についての幅広い知識の下に築かれるそれぞれの職業がもつ社

会的役割や価値の理解乃至は認識です。つまり、職業というものは限りなく多種多様であること、世の中の何らかの必要があり、また役に立っていることを学ぶとともに、こうしたそれぞれの職業が互いに有機的に関係し合いながら社会がつくられていると言うことへの理解です。職業に貴賤は無い、という言葉は、どんな仕事も分け隔て無く社会の中で価値を担っている、一つの職業が一つだけで存在しえないという考えから導き出される終着点です。今回の体験学習はこうした職業観育成の一環として実施いたしました。

3年生は、修学旅行の代替学習はありませんでしたが、健気に淡々と学習に励んでいます。朝学習では入試対策の一環として入試問題を解くなど、落ち着きのある生活を過ごしています。三者面談も間もなく始まり、いよいよ受験シーズンが幕あけです。これまで学んだ集大成を存分に発揮してもらいたいと願っています。

輝け！ 西中 部活動の活躍！

(敬称略)

【ソフトボール部】

第70回 東京都中学校 第11ブロック

秋季新人ソフトボール大会

第3位

敢闘賞

2年生 加藤 結生



【卓球部】

第53回 東京都中学校 第11ブロック 新人卓球大会

女子シングルス

2年生 岩波 茉里衣

第5位



「社会を明るくする運動」書道・ポスター作品展

【書道作品展】

2年生 伊代野 季央

2年生 葛西 来瞳

【ポスター作品展】

1年生 廣瀬 純蓮

(敬称略)



※令和3年11月2日(火)～5(金) 午前10時～午後4時
東久留米市役所 1階 市民プラザ屋内ひろば に展示されます。



毎年11月の第一土曜日は『東京都教育の日』

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/kyoiku_no_hi_2.html

東京都教育委員会は、次代を担う子供たちの教育について、都民全体で推進し、都における教育の充実と発展を図るため、毎年11月の第一土曜日を「東京都教育の日」と定め、10月及び11月を「東京都教育の日」推進期間としています。[令和3年度：11月6日(土)]